

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)

(毎月赤旗読者に配達)

(民報のみは月100円)

発行 日本共産党・手良支部

各団体が連携して

手良の子どもを守り育てる会

「手良の子どもを守り育てる会」の総会が7月13日の夜、手良小学校視聴覚室で行われました。

この会は、いじめ問題の解消や教育環境浄化の推進、地域での子ども育成等、児童の健全育成に向けて、学校・家庭・地域の各団体が連携して活動することを目的としています。

役員、市議会・教育委員会、子ども会、福祉、安協、防犯・消防、保育所・中学校、小学校

協働の町づくり交付金決定

手良地域協議会

第1回の手良地域協議会が6月19日に行われ伊那市協働の町づくり交付金について協議しました。

この事業は、地域の皆さん自らが地域の課題解決や地域振興のために行う実践的な活動を支援する制度ですが、手良では次のように決まりました。

「瓜天王」(祇園祭)に向けて俳句を募集

井上井月を偲ぶ句会

井上井月を偲ぶ句会(は手良公民館と共催で今年も中坪の「瓜天王」(祇園祭)に向けて俳句を募集し手良全域を中心に今まで最多の31句(男性18名、女性13名)が集まりました。

PTA関係団体代表と小学校職員の名2名による構成されています。

事業計画では地域における防犯・安全確保、あいつへの日常的な取り組み、「手良小共育プラン」「読書」「食育」の推進などについて協議しました。

また、手良保育園・小学校・東部中学校の手良地区児童・生徒の様子、諸団体から見た子どもたちの様子について情報交換を行いました。

手良春日城跡保存会の手良春日城跡整備事業400,000円、八ツ手南郷常会十手保存会の通学路の環境保全143,000円、浅間山登山道整備委員会の浅間山登山の調査・整備事業140,000円、手良地区活性化促進会議の手良地区活性化促進会議活性化対策事業514,000円の合計1,197,000円。

その中から句
黒雨風あせの身に心地下
桐山 云男
月明かり水路に光る虫かな
酒井ひさ子
麦穂分け風のゆく手に大仙丈
ケ岳(たいせん)手
那須野順子
囀り飛ぶ記念写真と青嵐
高橋中行
グラウンドに白服光る運動会
尾崎航也

提出された俳句は、14日の、中坪の「瓜天王」の夜、大きな箱灯籠へ掲示し境内の仮殿の横へ設置、祭りの雲笛気を感じ上げました。

現在、俳句は手良公民館に掲示されています。なお「長野日報」の文芸欄にも掲載される予定です。

手良建設労働組合の包丁研ぎボラ

手良建設労働組合による包丁研ぎ(組合員11人が参加して7月1日に手良公民館の奥で行われました。一人暮らし、母子家庭より民生委員が集めてもらい18人から43人が集まりました。以前は公民館等公共施設のものもやっていましたが時代の趨勢で包丁も使わなくなり希望も少なくなりましたのでこちらは止めました。これは建設労働組合上伊那支部の住宅ブローの一環として行われるものです。

小学校のプール開き

小学校のプール開きは7月2日午前中に行われました。最初に児童会体育委員長より「危険のない楽しいプールの時間になりたい」と誓いの言葉がありました。また、1年生より6年生まで各学年の代表がそれぞれ「バタ足が上手にできるよになりたい、がんばってきれいに泳ぎたい」などの「がんばりたい言葉」の発表がありました。校長先生からは水泳は体全体を使うのでいスポーツだ、命にかかわる事故を起こさないようにきまりを良く守り、水のことをよく知って、自分の命は自分で守らうなど話がありました。



プール開き

野口大豊に餃子店「らでん」開店

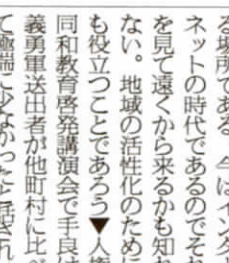
野口の野口大豊(野口852番地)に餃子店「らでん」が開店しました。店主の吉田順子さんは東京でも23年位居酒屋をやった経験があり、昨年からは那へ帰り、いい物件がないかと探していたら中央アルプスも見える手良のいい場所駐車場も確保できる民家の空家が貝つかりリフォームをして先日開店しました。一人でやるので餃子が中心で、定食は千円、焼き餃子・冷凍餃子の持ち帰り(テイクアウト)は六個で五百円。



らでん

郵便局のウィンドアート

手良郵便局のウィンドアートが西瓜などの夏の絵変わりました。女性職員の方が自主的に描いています。



ウィンドアート

今年も蛍を見る事が出来た。蛍は成虫期間は約1〜2週間と言われ儚い命であるが、柔らかな光はみんなの心をいやしてくれる。下水道化が進み川の水はきれいになっていくので蛍が発生する自然環境の条件は進んでいくのだろう。蛍が発生する優しい自然環境を後世に残していきたいものである。蛍が発生する場所は未だ知られていない所もあるかもしれない。お互いに情報を提供し合ってみんなで楽しみたいものである。消防の手良分団のポンプ操縦大会の優勝、手良建設労働組合の包丁研ぎのボランティア活動、手良の子どもを守り育てる会とみんなで行った方向になってこの手良地域を支えているのを感じる。手良の中心にある手良郵便局の季節によって変わるウィンドアートも目を引き楽しませてくれる。野口大豊に珍しい餃子の店「らでん」が開店した。中央アルプスも見える場所である。今はインターネットの時代であるのでそれを見て遠くから来るかも知れない。地域の活性化のためにも役立つことであらう。人権同和教育啓蒙講演会で手良は義勇軍送出者が他町村に比べて極端に少なかったと語られ、それは当時発行していた「手良民報」の影響もあったのではないかと話された。弊紙「手良民報」もそんな影響を与えることが出来るように頑張らなければと思いを致す。(T)

手良は義勇軍送出者は少なかつた 人権同和教育発表講演会

手良地区人権同和教育発表講演会
講演会は7月1日に手良公民館で行われ40数名が参加しました。

講師は野口東松出身の矢澤静二さん(元校長・元上伊那教育会在職)。パワーポイントを使って「上伊那の満蒙開拓義勇軍と満蒙開拓・手良村の特異性にふれて」と題して話されました。

昭和11年に国策により「20ヶ年100万戸満洲農業移民計画」が策定され長野県は80万戸、伊那市は2万5千戸の移民が推進されました。

13年に満蒙開拓青少年義勇軍の派遣が開始、手良では昭和13年に7人、14年に4人が割り当てられました。昭和8年2月4日に上伊那でも純粋な青年教師たちが治

安維持法違反ということで逮捕されました。

この事件がトラウマとなり満洲移民送出、さらに青少年義勇軍送出への動きに拍車がかかっていることが述べられました。

そういう中で手良での義勇軍送出数は昭和13年に1名、19年に1名と他町村にくらべ極端に少なくなっています。当時発行されていた「手良村報」の影響もあるのではないかと話されました。

満洲移民、青少年義勇軍は結果的には関東軍を守るための配置となり最終的には帰還率は50.8%、死傷者・不明者率は49.2%でした。



同和教育講演会

子どもの貧困について 中坪の福祉懇談会

中坪地域社会福祉協議会主催の福祉懇談会は6月24日夜中の福祉館で行われ約40人が参加しました。

社協の支部長・区長よりは今日の話を帰って家の人に話してほしい、自分たちは地域の活性化のために何が出来るか考える機会になどのあいさつがありました。

伊那市社会福祉協議会の井口さんよりは地域を良くするための活動としては子どもの遊び場発掘プロジェクト、三代交代交流力をいれていると話がありました。

貧困・虐待・いじめ・不登校など、将来を担う子どもたちが安心して育っていけない、様々な問題が起きている中で、伊那市子ども相談室の山口志香さんよりは「子どもたちの心は、思春期を見据えて」と題して講演がありました。

山口さんは37歳の保健師に

なりの初めての赴任地が手良だったこと、子ども相談室で対応していること、具体的な相談の内容、子どもが示す行動の内容、子どもが抱える問題の背景など話され、すべての子どもが十分認められて育ち、自尊心の心を育みながら、誇りと自信をもって社会に巣立っていくために、大人のできることはたくさんありますと語られました。



福祉懇談会

城倉さん歴史を語る

手良公民館主催の手良の歴史講座は6月24日の午後7時から「あ」で行われ10数名が参加しました。

野口原町の城倉さんが「戦時中『伊那飛行場』建設を経験して『あかこんぼに乗りつ』と題して講演しました。

日本の現状についてふれ、歴史を振り返ってみることが大切だと話されました。昭和20年に秋田の花岡鉱山で過酷な労働条件に中国人労働者が蜂起し数百人が銃殺された花岡鉱山事件、

国策として約27万人の入植者が満洲国に送り込まれた満蒙開拓団、昭和12年日本軍が中国の南京で多数の中国人を虐殺した南京事件に触れ、戦争は人間の精神をおかしくすると話されました。

城倉さんは家にいるよりは知らない土地へと満蒙開拓団へ3ヶ月動労奉仕に行き、その後甲冑をして伊那の飛行場に終戦まで勤め終戦の処理も行いました。

戦争中日本は燃料が不足していたので松の根からとった松根油、ひまから搾ったひまし油などを使用しようとしたことなども話されました。

（株）ファーム手良 定期株主総会

(株)ファーム手良第一期定期株主総会及び手良営農組合第十一回通常総会が5月27日に関係者が出席しJ.A.上伊那手良支所にて開催されました。

（株）ファーム手良は平成27年11月に株主336名、耕作面積57haで設立されました。

4月より農地の賃借や諸作業並びに農業教材、経営安定対策等の手続きや補助交付金等一切を、手良営農組合から会社業務としました。

設立の趣旨は農業者の高齢化が進み将来に向けての担い手の確保。直接的には国の補助施策の交付金の受皿を作るためのものですが今年からはプロコリーの植え付け収穫作業等も行います。



お世話になって父ちゃんごめんねという感謝の気持ちはい、病気になるまで長年続いた生活環境はすっかり頭に残っているらしい。

市施設を見学 四つ葉の集い

手良公民館の「四つ葉の集い」は6月15日に見学会を行いました。当日は「市施設を見学して学習しよう」ということで、伊那市議会を傍聴し、市役所南側にある浄化センターを見学し、市役所食堂で昼食を済ませ、新消防署を見学しました。

毎日の生活に関係の深い施設で



手良の歴史講座

中坪公民館で絵手紙教室やっています



小松栄子

今年の害虫

今年は手良での害虫の発生はとうとうだてしようか。下手良中組向山一人さん裏の沢岡川に近いほうは7月8日頃虫が駆舞しました。大きな徳氏虫小さな平家虫も一緒でした。

他には中坪上村の白旗寮の下、肉生団地反対側の森の中などでした。いずれも目撃情報を布設してない所です。下水道が進み川の水がきれいになったことも影響していると思われま。

すがなかなか見学の機会がないので参加者には勉強になりました。

「四つ葉の集い」は中坪・野口・下手良・八ツ手の4地区をイメージし、文化・自然・歴史などの学習を行います。



浄化管理センター見学

（おねがい）身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思っております。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。七八〇九四三 高橋

生活雑記 その後の彼は

160

小松利江

しばらく電話がなかったので心配していたら、元氣なマイサーに通過しているから安心してね。俺は忘れの病だから電話したことも覚えていないし、話した事も記憶出来ないからさ、自分の病気がどうなっているのか分からないわあ、つまらないあといつ。

以前より穏やかになったよう気がしたのも束の間、その日から一週間、同じ話題の電話に悩まされた。大の散歩の途中に

芹があったので沢山取ってきたから、今すぐにおいでという。ええ、今頃の芹が食べられるの、田の畔に自事に伸びた様が見える。その後は度々食の最中だったで断った。

じゃあ明日おいで、涼しい所に置かれておかないようにと念を押された。大丈夫、明日になればすっかり忘れてしまおうから安心して電話をききました。

翌日、芹があることについていたらしく、昨日たまたま芹を取って来たからすぐにおいでという電話しひっくり、さあどうしよう。こんな事が一週間続いた。昨日、電話をかけた事はすっかり忘れていたらしく、沢取っ

てきたからと喜ぶ声は聞か、病気が進んだのか、これが普通の状態なのか、はっきりの断れなかつた事がいけなかつたのか悩んだが、結論は出ないまま。

先日、親しい付き合いが長いていたお友達が認知症の症状が進んで困ったという電話があった。ご夫婦が元氣な妻も小さいあ、何も不自由のない親も小娘もいなし生活を存分に楽しんで80歳を超えた。信仰家が想像も出来ないほど先祖を大切にしていたのに、ご利益の期限が来たのと思いつながら話を聞いてきた。介護保険法の認定も出来ないほど神経質になって父ちゃんをそばから一時も離れたくない私を何処にもやらないうと責め